

「大文賞」特別賞

ブータン王国内務省主任技師

キンレイ・ウォンチュク 氏

ブータン王国における歴史的建造物の現場で活躍している
キンレイ・ウォンチュク氏には「3つの初めて」がある。

歴史的建造物の保存と修復の分野で日本が招聘した初めてのブータン人であること。
当該分野の専門技術者としての努力と成果に対して、前国王から慰労と感謝のお言葉を直接に賜った初めてのブータン人であること。
そして、生前の田中文男棟梁から親しく指導を受けた初めてのブータン人であること、の3つである。

当時は日本でもあまり知られていなかったブータンから、歴史的建造物の修復と保存の専門技術者を招聘するという創造性に充ちた先駆的な計画は、日本側における官民一体の尽力によって実現した。滞日中のキンレイ氏は、日本各地の修復現場で、数多くの日本人技術者と交流しながら修復と保存の技術を学んだが、とりわけ田中文男棟梁から学んだ知識と思想が、ブータンに帰国してからのキンレイ氏を支えたことに疑問の余地はない。

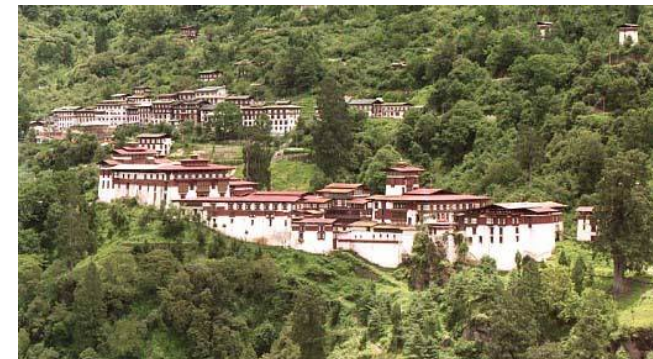
そんなキンレイ氏は、言葉の真の意味における官民一体の協力と、国際的な視野を持った田中棟梁の薫陶を得て、帰国後に現地で開花した国際協力の見事な証である。いまや田中棟梁から直接に薫陶を受けられる人は1人もいないが、親しい人達から「大工の文ちゃん」とも呼ばれた田中棟梁の名を冠した大文賞の特別賞を授与して、泉下の田中文男棟梁に恥じる事のない人物がキンレイ氏である。



キンレイ・ウォンチュク氏

キンレイ・ウォンチュク (Mr. Kinley Wangchuk)氏 略歴

- 1962年 ブータン王国のパロで生まれる。
- 1980年 プナカで学校を卒業の後、ブータン王国内務省に技官として就職。
- 1992年 文化庁建造物課の推薦を得て、国際交流基金（現・国際交流機構）の招聘計画で来日。
- 2013年 現在は東ブータンのペマガツェルでゾンを再建中。
この間キンレイ氏はトンサ・ゾンの修復監督や、西ブータンのチュカでゾンの再建などに取り組む。
尚、ゾンはブータンにおける行政庁・城塞・僧院を兼ねる中心的建物。



トンサ・ゾン